

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.28	02	情報	09
今号の表紙	03	市民の広場	10
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
新型コロナウイルス		相談	13
今すぐできる感染症対策	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ
 2020対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



周りの人が優しい海老名
 有馬小学校 木村佑惟人さん(10歳)

写真

タイトル：毎年訪れる大谷の
 こいのぼり

撮影場所：大谷地区
 撮影者：東京都渋谷区在住
 岩城 敦さん



編集雑記

大谷の空に浮かぶこいのぼり。こいのぼりを揚げられない我が家は、ここで楽しませてもらっています。間近で見られるこいのぼりに、去年は子どもたちが大はしゃぎしたことを思い出しました。1年成長した反応を楽しみに、ことしも訪れたいと思います。(M)



えびな団地の異文化交流に尽力

中谷さんはえびな団地内の異文化交流の橋渡し役です。団地の敷地内で元気に駆け回る外国籍の子どもたちを見ながら、「10年くらい前からだね。かわいいんだよ」と目を細めます。朝に顔を合わせれば「グンモーニーン」、井戸端会議をしていればジェスチャーで参加。中谷さんの日常です。

以前は生活習慣の違いから問題も多く、ルールやマナーを理解してもらうには気軽に話せる環境が必要でした。中谷さんは声掛けを続け、行事を開催。餅つき大会は外国籍の子どもたちの興味を引きました。「これは米から作るんだよって説明する。コメ、コメ！って。あんこはマメ、マメ！って。出てくる言葉は日本語だけなんだけどね。食べない人もいる。それでも来てくれればと思ってやっています」

ジェスチャーを駆使して外国籍の団地住民と交流する中谷さんですが、「やっぱり、もう少し会話ができたらいいな…」とものごかしい思いもぽつり。人柄を生かした友好の築きを、今日も積み重ねます。



ジェスチャーでコミュニケーション



団地内の案内やちらしは、英語やイラストを使って

今月のえび人

中谷尚利さん
 (中新田在住・76歳)

北海道出身。えびな団地居住歴約40年。平成21年、同団地自治会の会長に就任して11年目。